



社団法人 日本病理学会
〒113-0033
東京都文京区本郷2-40-9
ニュー赤門ビル4F
TEL: 03-5684-6886
FAX: 03-5684-6936
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp
http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第290号

平成24年(2012年)3月刊

1. 学術研究賞演説 (A 演説), B 演説の選考について

第58回(平成24年度)秋期特別総会学術研究賞演説(A演説), B演説については, それぞれ20題, 10題の応募があった。3月2日の学術委員会で審議し, 8題, 3題を選考した。本件は, 同日の理事会において, 同委員会案のとおり決定した。

学術研究賞 (A 演説) (応募順)

1. 新しい腎腫瘍疾患における染色体・遺伝子異常の同定: 黒田直人 (高知赤十字病院病理診断科部)
2. 酸化的損傷塩基の除去修復因子であるDNAグリコシラーゼの異常とがん化に関する研究: 新村和也 (浜松医科大学第一病理学教室)
3. 悪性リンパ腫を中心としたヒト腫瘍における腫瘍幹細胞の探索: 池田純一郎 (大阪大学大学院医学系研究科病態病理学)
4. 卵巣明細胞腺癌の発生・進展機構に関する病理学的研究と分子基盤の検討: 山本宗平 (防衛医科大学校病態病理学講座)
5. 進行性多巣性白質脳症の核内ウイルス封入体~JCウイルス感染の標的, PML-NBsの病理学的意義~: 宍戸-原由紀子 (杏林大学医学部病理学教室)
6. 骨微小環境での腫瘍間質相互作用における可溶性RANKLとTGFβの役割: 前立腺癌・乳癌を用いた動物モデルによる解析: 二口 充 (名古屋市立大学大学院医学研究科分子毒性学分野)
7. 生物機能と疾患の理解を目指した糖鎖生物学研究: 池原 譲 (産業技術総合研究所・糖鎖医工学研究センター・分子医用技術開発研究チーム)
8. 新規融合遺伝子の発見: 竹内賢吾 (がん研究会がん研究所分子標的病理プロジェクト)

B 演説 (応募順)

1. ALK腎癌: iAEP法を用いた免疫組織化学的大規模検討: 菅原江美子 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科包括病理学)
2. 心臓移植の病理—42例の経験—: 植田初江 (国立循環器病センター病理部), 池田善彦, 松山高明, 大郷恵子, 橋村宏美, 小林順二郎, 中谷武嗣
3. 乳腺分泌癌および類似組織型における鑑別マーカーの系統的探索と検証: 大迫 智 (がん研究会有明病院病理部)

2. 学術奨励賞の選考について

3月2日の学術奨励賞選考委員会で, 第13回(平成23年度)学術奨励賞受賞候補者を選考した。17名の応募があり, 審議の結果, 7名を選考した。本件は, 同日の理事会において, 同委員会案のとおり決定した。(ABC順)

1. 乳腺における神経内分泌癌—神経内分泌型非浸潤性乳管癌を含めて—
川崎 朋範 (山梨大学医学部附属病院病理部)
2. 変形性関節症をはじめとする骨・関節疾患の分子病理学的研究
木村 徳宏 (慶應義塾大学医学部病理学)
3. 腫瘍内微小環境におけるマクロファージの役割に関する病理学的解析
菰原 義弘 (熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学)
4. 肺腺癌の進展, 予後予測およびアポトーシス抵抗性に関する病理学的研究
佐久間裕司 (神奈川県立がんセンター臨床研究所)
5. IgG4関連疾患の臨床病理学的解析
佐藤 康晴 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学)
6. 消化器発癌のメカニズムと周囲微小環境の役割に関する研究
富田 弘之 (岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍病理学講座)
7. 低悪性度骨肉腫およびその脱分化現象の病理診断に関する研究
吉田 朗彦 (国立がん研究センター中央病院病理科)

お知らせ

1. 第8回腎病理夏の学校について

会 期：2012年（平成24年）9月1日（土）、2日（日）

会 場：山形県立保健医療大学（山形市上柳260番地）

参加申し込み：

2012年5月8日（火）、9日（水）、10日（木）の3日間E-mailにて申し込みを受け付けます（注意：先着順ではありません）。メール内に、氏名、年齢、性別、所属診療科、所属施設/部署、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、初級（これまで腎生検診断などの経験がほとんどない方）・中級（ある程度の腎生検診断などの経験がある方）の別を記載し、メールの件名を「夏の学校申込」として送信してください。

◎同一施設から多数の応募がある場合は施設間の調整をお願いすることがあります。

主 催：日本腎臓学会・日本腎病理協会

申し込み及び問い合わせ先：

〒990-2212 山形市上柳260番地

山形県立保健医療大学保健医療学部 前田邦彦

電話+FAX：023-686-6628

E-mail：kumaeda@yachts.ac.jp

2. 第10回信濃川・浜名湖国際セミナーについて

主 題：「現代社会と医療，医学教育における剖検の役割およびその知識と技術」

会 期：2012年10月20日（土）・21日（日）

会 場：浜松市地域情報センター

申込み締切り：2012年9月20日（定員200名）

参加申し込み先：SH国際病理研究会事務局

立川総合病院病理科 小林 寛

〒940-0053 新潟県長岡市長町2-2-1

多目的施設「きぼう」2F

TEL：0258-89-6923

URL：http://www.shinano-hamama.com

E-mail：tatipatho@shinano-hamama.com